

愛の中で育ちゆくこどもたちへ

毎月、お誕生日を迎えるお子さんの保護者から「ぎゅっと抱きしめたくなる時」をコメントいただき、1, 2階の掲示板にてご紹介しています。短い言葉の中にも親から子へ、子から親への「愛してる」という心が溢れていると感じます。子育てでは思うようにいかないことが多々あり、親だっいろいろな気持ちが湧いてくることなのでしょう。愛が他の気持ちや行動に隠れてしまうかもしれません。それでも、いつも心に愛はあり、伝えたり伝えられたりすることで枯れることなく育まれていると思います。神様は、私たちが何かをしたからではなくただありのままに愛してくださっている…これが愛の源だからです。

光の園では、いつも「きみは愛されている」「一人ではないよ」というメッセージを伝え、子ども自身の力を信じ、生きる力を育む保育を大切にしてきました。自分を大切に、同じように他者も大切にすることを育ててほしいという想いも込められています。3月。ゆり組のこどもたちが、広い世界へ飛び立とうとしています。これからたくさんの新しい人や環境、出来事に会っていきます。家庭や保育園で唯一無二の存在として愛されてきたこどもたちは、新しい場所でもあたたかい光のように輝くことでしょう。多くの卒園生がちょっと立ち寄る光の園です。今年度も胸を張って歩みだすこどもたちを笑顔で送り出したいと思います。

園長 佐々木奈津絵

わたしたちは、わたしたちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。
(ヨハネの手紙1 4章:16説)

<3月の予定>

- 5日(水) 誕生会
- 11日(火) 卒園式総合練習①
- 13日(木) 卒園式総合練習②
- 15日(土) 卒園式
- 19日(水) ゆり組思い出遠足
- 26日(水) 6年生の会
- 日時非公開 避難訓練

2025年度 すくわくプログラムについて

保護者懇談会でお伝えしましたが、今年度、東京都のすくわくプログラム(乳幼児の「伸びる・育つ(すくすく)」と「好奇心・探究心(わくわく)」を応援し、乳幼児の豊かな心の育ちをサポートするため、主体的・協働的な探究活動の実践)に取り組んでいます。活動報告はクラスにも掲示しますので、ご覧ください。

つぼみ組
(0歳児)

この一年、心身共にたくさんの成長の姿を見せてくれた子どもたち。友だちと関わることがますます増えてきました。

泣いているお友だちがいるとその子の周りに数人が集まり、皆で心配そうに頭をナデナデ♡お友だちの愛に囲まれているうちに涙も引込んでしまう様子を見ると、子どもたちに他者を思う優しい気持ちが育ってきているなあと感じ、微笑ましく思います。

月齢の差がある中でお互い刺激を受けながらみんな活動的にあそんでいます。

何してあそぼうかなあ……。時々低月・高月の仕切りを外し、自由に行き来しながら生き生きとした表情で好きなあそびを楽しんでいます！

4月からは本園に進級します！次にはどんな楽しいことが待っているかなあ♡



もも組
(1歳児)

「皆で歩いて横川公園にGO！」

1月より、2人ずつペアになって皆で手繋ぎ散歩をスタートしました。

夏前頃から順番に数人ずつ歩いていましたが、実際に全員で一緒に歩いてみると・・・

“一人で歩きたい”と、繋いだ手を振りほどかれてしまったり、帰りは疲れてしまってその場で正座してストライキしてしまう事もありました。しかし、手繋ぎをする子ども同士のペアを変えつつ何回か挑戦する中で、往復横川公園まで皆で歩くことができるようになりました。

「前から自転車が来ます!」「しましまの道(横断歩道)渡るよー!」という保育者の言葉を子どもたちが覚えてくれて「じてんしゃくるよー」と自分から声をかけてくれたり、横断歩道を渡る時に手を挙げてくれる姿もでてきました。

また、自転車や歩行者にぶつからないように、「端っこに行こうね」と伝えと、子どもたちが「♪はじっこ♪はじっこ♪」とオリジナルメロディーにのせて歌ったり、歌の「さんぽ」の大合唱をしながら歩く姿が可愛らしいです。

簡単に交通ルールを伝えて守りながら、2歳児クラスに進級しても皆で楽しく散歩に行きたいと思います。



すみれ組
(2歳児)

「……ばあっ!!!」

今でも続く「ばあっ!!!」と驚かせるブーム。しかしその姿は少しずつ変化というよりも進化しているのです！

以前は部屋のドアが開くのが早いのか、「ばあっ!!!」と出てくるのが早いのかと考える程で、驚くよりも「もう少し待ってよ!」とツッコミを入れてしまうほど。それが今ではドアを開けて部屋に入るまで待ってから「……ばあっ!!!」と確実に驚かすことができるようになったのです。

子どもたちには内緒ですが、驚かされたことよりも、待てるようになったことにびっくりする保育者でした。



さくら組特大号

～1年間の色々な思い出ふり返り特集～

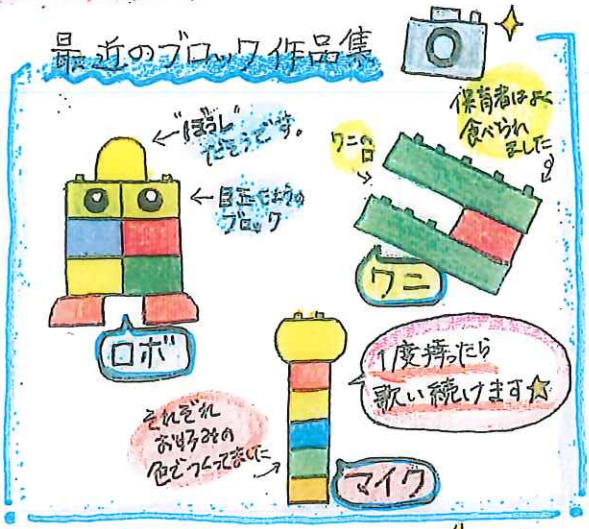
ねずみ? くま? 事件.

もも組にあるぬいぐるみ。色はねずみ色ですが形はくま...? 子どもたちも「くまさん!」「ねずみさん!」と意見が分かれていたぬいぐるみ。ある日Rくんが

「ねーじゅみんだよ!!」と主張!
それを保育士が「え? バンジヤミン?」と聞き間違えて、ねずみでもクマでもなく「バンジヤミン」となりました 😊



最近のブロッコ作品集



コンコン!

「だいじょーぶ?」

大人の動きをよく見ている子どもたち。食事の時に少しおぼろめしたAさん。その姿を見て、イスから身を乗り出してでもAさんの背中をトントンさそうとするAさん。自分の食事そちらのすて「おせき、コンコンね〜。だいじょーぶ?」と優しい声掛け♡そして、そのまわりのあたりもポポンして「コンコン、つらいね〜」と大人顔負けの対応。スゴイです*



やせよせよ いえせくな〜

「カンカンカン、カン、晚餐館! 焼き肉焼いても家焼くな!」なつかしいCMのワンフレーズよこのCMソングがさくら組で大ブームに! ママから教えてもらった子どもが発端で、いつのまにかみんな歌える様になっていました。世代の差も越えて、子ども保育士もみんなで大笑いしました 😊



イタタタタ〜!

クリスマスのお楽しみ会で歌った「あわてんぼうのサタクロース」。歌と一糸者に踊っていた保育者が靴を真似をしたのが子どもたちのツボにハマリ、クリスマスが過ぎた今でも「あ、イタ! ドンドボン!」のフレーズだけ会話の中でよく飛び出しています(笑) 絵本で靴を履いているシーンがあれば絵本を指さし「あ、イタタタ!!」。床にごろ〜んと寝転がって、こらぽまねをしている時も「あ〜!! イタタタ!!」と言う姿がおじいちゃん、おばあちゃんの様と面白いです *





2歳児
たんぼぼぐみ

何をしている所に見えますか?

左の写真。見ての通り“こどもたちが座って絵本を読んでいるところ”です。これは、着替えが終わって、各々絵本を読み始めたところなのですが、なぜかみんな一列に並んで座っていて、可愛すぎて思わず撮って

しまった一枚です(笑) 園だよりで紹介するという事は、ただ可愛いだけの写真でもありません。

振り返って1年前の4月。こんなに落ち着いていて、写真を撮ることができる余裕がうまれるなんて想像できないくらい、着替えの前後はバタバタとしていました。

まず、自分で着替えるのも難しく、いや…着替えをすることも嫌で、着替えに気持ちを持っていくのがやっと。着替えを始められたと思ったら、カゴから着替えを出して…着替えて…トイレ誘ってみて(オムツを替えて…)着替えをしまつて…着替え終わった子どもたちの傍につく…と思ったら喧嘩が始まって…大人の手が足りません(笑)(安心してください、それをどうにかこうにか工夫するのが保育士の仕事です。)

しかし、1年の積み重ねで今子どもたちは「着替えをしよう〜」の一言で、自分で着替えて(もちろん保育者が手伝う事もあります!)片付けまで自分で行き、友だちと絵本を読んだりパズルをして待っていてくれます。

自分たちで考えて行き、自分たちでできるようになっているたんぼぼぐみの子どもたち。

『成長したなあー』とつくづく感じました。ちなみに、着替えの時には、友だちとふざけて大笑いしておしゃべりしながら着替えていて、その姿もほほえましく思います。

ただ絵本を読んでいるだけの写真にも見えますが、実は一年分のエピソードを含んだ誉らしい姿であり、そんな子どもたちを自慢したくなる1枚の写真を紹介しました!

ばら組 (4歳児)

まっていた！廃材製作！

帰りの会始めました！

「廃材製作しないの?」「廃材持って来ていい?」と子どもたちからの声が増えたので廃材製作をすることになりました。色々な決まり事をゆり組さんに教えてもらいました。初日は廃材が足りるか分からなかったで“一人ひとつ”という決まりにしました。その中でも“こうきたか!”と思ったのが3-4人の女の子たちが一人ひとつの廃材を持ち寄り、くっ付けてホテルを作っていた事です。色々な部屋があり、画用紙等で必要なアイテムが作られとても豪華なホテルでした。初日からこんなに素敵な考えの作品ができちゃうの?!と、これからの廃材製作で子どもたちがどんな物を作るのか目が離せません!

2月の中頃から帰りの会を始めました。こちらが伝えたこと、話し合っていて考えていきたいこと、子どもたちが言いたいこと、聞きたいこと等を話す機会となります。隣に記載されている廃材のことや、折り紙の本を新しく欲しいなど子どもたちからの要望が増えたことも帰りの会を始めようと思ったキッカケの一つです。いざはじめると中々意見は出ないもので、なにか言いたいことがあるか尋ねると「今日の散歩が楽しかったです!」という可愛らしい内容なことが多いです(笑)進級すると子どもたちと話し合いながら物事を進めていくことが増えます。帰りの会がどんな風に進化していくかも楽しみです。

ちゅうりっぷ組
(3歳児)

ちゅうりっぷ組で過ごす日々も残すところ一か月…“幼児クラス”になって一年、日々の生活・あそび・行事などを通してたくさんを経験してきました。集団が大きくなったことで、交友関係が広がり、子どもたちの世界も広がっていきました。それと同時に、戸惑いや葛藤も多々あったことと思います。日々の関わりを通して、友だちの思いに気がついたり「それでも〇〇したかった…！」と自分の気持ちを伝えたりするなど、一つ一つ乗り越えてきた子どもたちです。生きる力が育まれているのだなぁとしみじみ…あっという間の一年間でしたが、子どもたちの成長を間近で見ることができ、またその喜びを保護者の皆様と共有することができて、担任一同うれしく思います。

さて、他クラスでインフルエンザや胃腸炎が大流行する中、とても元気に登園してくれていたちゅうりっぷさん。寒さに負けず、強風にも負けず！公園でたくさん身体を動かしています。また、5～10名（時にはそれ以上！）ほどの子どもたちで同じイメージを共有しながら、保育者が介入せずとも、子どもたち同士であそびを進めることが増え成長を感じています。そんな子どもたちに人気の集団あそびを、一部紹介します。



【花いちもんめ】

選ばれた子どもは、チームを代表してじゃんけん！勝っても負けても恨みっこなしの真剣勝負です！



【しっぽ取り】

しっぽを目がけてよーいドン！他の友だちに取りられたとしても「おめでとー！取れたね！」と自分事のように喜ぶ素敵な子どもたち。「よーし、次は僕が取る！！」と、更に闘志を燃やし何度もチャレンジしています。



「あ～～！！取れなかった～！！」

「大丈夫？
次頑張れば、取れるんじゃない？」

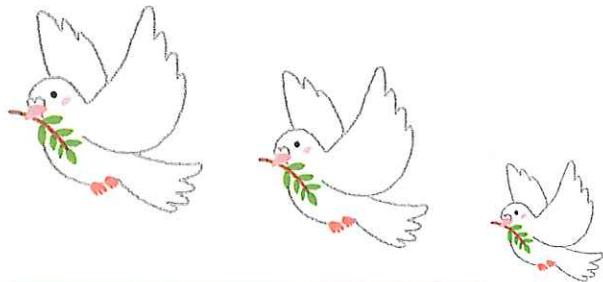


毎日新しい発見や驚きがあり、笑ったり泣いたり、怒ったり悔しがったりなど、様々な表情を見せてくれた子どもたち。たくさん葛藤しながらも、自分で考え行動する子どもたちは、たくましい4歳児に成長しました。そんな子どもたちのことを担任として誇りに思います。残り一か月、一日一日を大切にしながら、全力で楽しんでいきます☆

ゆり組
(5歳児)

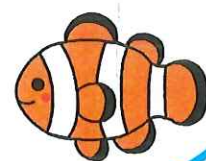
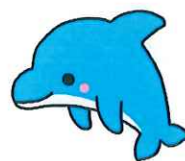
『讚美歌に思いを込めて～みんなの願いよ、世界へ届け～』

先月、卒園式で歌う讚美歌を子どもたちと一緒に相談していました。小さい時から口ずさんでいたということもあり、一人ひとりの曲に対する気持ちや思いが聞かれました。中でも人気だったのが『どんなにちいさい』『せかいのこどもは』でした。最後はみんなでどちらにするかを話し合ったのですが、保「どうして この讚美歌が いいと思ったの?」と聞くと、子「『せかいのこどもは』さ みんながなかよくなれるような きがするんだ」「せかいが へいわになってほしい」「せんそうを やめてほしいってきもちになる」などの声が上がりました。“大好きだから・この歌がいいから” という理由ではなく、世界の平和やみんなが仲良くなれると自信を持って伝えようとする姿はとても感慨深いものでした。“自分が1番”と思っていた子どもたちが、傍にいる友だちのことや世界の人々のことまで考えることができるようになったんだな～と、担任もしみじみと感じた瞬間でした！年長児の誕生日カードの聖句にある「隣人を自分のように愛しなさい」のメッセージ通り、愛で溢れる子どもたちになってくれたらと願っています。



『レッツゆり組水族館！～生き物の楽園つくっちゃおう～』

子どもたちと一緒に、すみだ水族館へ散歩に行きました。その日の午後から、画用紙にクレヨンと絵の具を使ってダイナミックに絵を描いてみました。出来上がった絵を見ると、きちんと線で区画をしてそれぞれの生き物を描いている姿があり、館内の様子が子どもたちにとってどう映ったのかがよくわかりました。また夕方には「みんなでさ すいぞくかんごっこやろうよ！」と数名から声上がり、次の日の集まりで実際にどんなことをしたいのか、何の生きものを作りたいかなどをみんなで話し合ってみました。子「おおきな水槽があって そのなかに サメとかおおきなさかなが いたよね!」「ペンギンの 飼育員さんが おさかなあげてたね」などと自分たちが見たこと・感じたことがいっぱい出てきました。また水族館には無かった“イルカショー”や“ふれあいコーナー”“おみやげコーナー(今回は寄らなかった)など、今まで経験を積んだゆり組ならではの意見もたくさん出ました。現在(2/20頃)ゆり組水族館オープンに向けて準備をしているので、進捗状況や実際にやってみた様子は随時ご報告させていただきます！今後の展開をお楽しみに～！



ほけん

予防接種歴のご提出のお願い

進級、進学の子供の季節になりました。色々な準備があると思いますが、受け忘れた予防接種はありませんか？ワクチンは不定期に品薄になることがあるため、行こうとした時にちょうど品薄でできなかったことがあると、そのまま忘れてしまいがちです。

皆様には3月中に「予防接種歴」をお渡ししますので、接種忘れがないかご確認いただくと共に「予防接種歴」のご記入とご提出を

お願い致します。



おしょくじ

寒暖差に負けない！毎日元気な体づくり

花もほころび始め、春の訪れを感じられるようになりました。暖かい日もあれば寒い日もあり、体調を崩しやすい季節です。バランスの良い食事を食べ、たくさん外で遊び元気に過ごしましょう！

栄養のお話♪

カルシウム

カルシウムは健康な体づくりには欠かせない栄養素で、骨や歯を丈夫にし、筋肉が正しく動くことにも役立ちます。とても大切な栄養素なので、体の中でカルシウムが不足すると骨にあるカルシウムを使って補う仕組みがあります。このため長い期間カルシウムが不足すると骨が弱くなってしまいます。

カルシウムの多い食材

牛乳、乳製品、油揚げ、豆腐
豆乳、小魚、大根の葉、小松菜
チンゲン菜、切り干し大根



日光に当たることも大切だよ～！

カルシウムの吸収を促してくれるのがビタミンD！
ビタミンDは食事で摂るだけでなく日光を浴びることで体内でも作られます。外でも元気にたくさん遊びましょう！



やまびこ

いつも子供たちの日常を楽しく過ごせるようにしていただいております。

先日の懇談会もありがとうございました。また1年で保育園での成長等のお話を聞くことができ感謝しております。

懇談会の中で、来年度からのイベント（ゆり組お泊り保育）のお話でしたが、その件につきまして意見を述べさせていただければと思います。

近年、イベントの見直しがあることは重々承知しており、日常を大切にしたいというお話もよく理解できました。

ただゆり組という小学校入学前の最高学年であり卒園の年である最後の年でもありますので、毎年恒例で光の園の一番のイベントである自然の中でのお泊り保育を是非実施していただけるよう再考をお願いしたいです。

光の園では、特にゆり組になると出来ること、最後の1年を日常に加えて色々な経験もできる年であると思っております。

いまま区の保育園の年間スケジュールやHPにも例年のお泊り保育やキャンプの写真の掲載もあると思います。

今後開催されないのであれば、○年度よりお泊りはありません等記載し、入園前に知るべき情報ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

コロナなど、やむを得ない理由なら仕方ありませんが、もう少し事前に準備等していただきたいと思いました。

我が家は幼稚園には行けない中でも、イベントが多く、外でのお泊りのある、光の園を選び第一希望として入園いたしました。

ずっと楽しみにしており、やっといけると思った矢先に行けないというお話で残念でなりません。

親子遠足や芋ほり遠足も減ってしまった上、最大のイベントも縮小となってしまうのでしょうか。

また子供たちが企画するとのお話でしたが、5歳児の提案には限界がありませんでしょうか。

わが子も経験不足で日常レベルの提案しかできないかと思えます。

子供たちが経験したことがないようなお泊りだからこそ成長も見れると思っておりますし、本当に行かせてあげたく改めまして、再考いただけますようお願いいたします。

熱中症の心配でしたら、開催時期を変更する、

先生方の労働時間に関してでしたらお泊りをなくす以外に何か親も協力できる部分はありませんでしょうか。代休（ゆり組お休みの日）を増やすなど…。

熱中症対策で日程を変更するなど、なんとか開催することはできないのでしょうか。

どうぞ今一度、再考いただけますよう何卒よろしくようお願いいたします。

やまびこ

いつもありがとうございます。

行事の見直しですが、ゆり組のお泊り保育は続けて欲しいです。

暑さのため、日常の保育を大切にするため、職員の方々の働き方改善のため、行事の見直しを行い、親子遠足や芋ほり遠足がなくなったのは残念ですが、それもそうだという思いもあり理解できました。

しかし、お泊り保育は保育園生活の集大成のイベントですし、親元を離れて一晩お友達と過ごすという経験を是非子供達に体験させて欲しいです。特に現ばら組の子供は次は私達がお泊りだ！！と楽しみにしているので形を変えてでも実現して欲しいです。コロナ後に園内でお泊り保育をした年もあったと聞きます。

あと、HPの現在の年間行事にも親子遠足等が入っています。これから入園するご家庭でも行事があると思っているのではないのでしょうか。

こだま

お泊まり保育についてのお気持ちを寄せていただき、ありがとうございます。行事の見直しについて保育園からの説明が至らず、申し訳ございませんでした。

郊外で行うお泊まり保育について、近年の気象や現地状況の変化、緊急時の対策を踏まえ、コロナ以降数年かけて行事のねらいや開催地、時期など検討してまいりました。全保育者が話し合いを重ね「日常の安心安全」を守り、その上で「こどもたちの姿や願いに沿って共に創っていく行事」が豊かなものであるようにという姿勢に変わりはありません。デイキャンプの形式にはなりますが、活動時間や内容についてはいろいろな可能性を前提にしています。こどもたちの「やってみたい」という気持ちを、光の園の職員がこれまでこどもたちと共に培ってきたノウハウと発想で支え、楽しく心に残る経験となるよう取り組んでまいります。この度は貴重なご意見ありがとうございました。